

秋田の船釣りはおまかせ ソルトビーチ&友栄丸

★シーガーフィールドスタッフのエビちゃん(蝦名和加子さん)が3年前、秋田県男鹿市に移住して開業したのが「ソルトビーチ」。遊漁船「友栄丸」をメインに、釣具店、民宿(丘の上のソルトビーチ)なども併営、トータルで釣り客を受け入れている。マダイ、アマダイ、青物、アオリイカなど四季折々、男鹿半島周辺の多彩な釣り物を狙っている。秋田に釣行の際はぜひともチェックしておこう。



▲戸賀漁港の友栄丸、7人までの乗船



▲エビちゃん(和加子さん)と友之さんの夫婦船頭、船長と仲乗りを交互にこなす
◀港近くにあるソルトビーチで受付、釣具販売のほか貸し道具も用意

●問い合わせ=秋田県男鹿市 ソルトビーチ ☎080・2372・1899



▲いの一に竿を曲げたのは中村さんだった
◀一番の大型は中村さんのアラ。アカムツ以上の魚影の濃さだ
▼アカムツにしては水深が浅いので引きもまずまず



▼アカムツは30センチ前後がメインだった

▲オキメバルはすべて30センチ以上の大型ばかり
◀初めてのアラにも感激



Challenge #67 秋田県 男鹿市戸賀漁港出船の アカムツ五目

★エビちゃんも2日目に待望の本命



★男鹿の象徴「ナマハゲ」が釣り客を受け入れる

★中村さんお見事、友栄丸で初めて釣れたアカムツ

鈴木新太郎、 中村透、蝦名和加子 未開の釣り場、 秋田県男鹿沖 アカムツ、アラに チャレンジ

釣れる 釣れる 釣れる 釣れる 釣れる 釣れる 釣れる 釣れる

★男鹿沖の水深150メートル前後を狙った

●秋田県北西部に位置する男鹿半島周辺はマダイ、ブリ、根魚、アオリイカなど多彩な魚種を誇る釣りの名所でもある。今回は当地在住、シーガーフィールドスタッフ「エビちゃん」こと蝦名和加子さん所有の友栄丸にて、未開拓のアカムツ、アラに挑戦した模様をお届けしよう。

7月初旬、秋田を訪れたのはシーガーフィールドスタッフの鈴木新太郎、中村透の両氏。男鹿半島戸賀漁港にて遊漁船を営む蝦名さんの元を訪れ、アカムツ、アラを狙うためである。

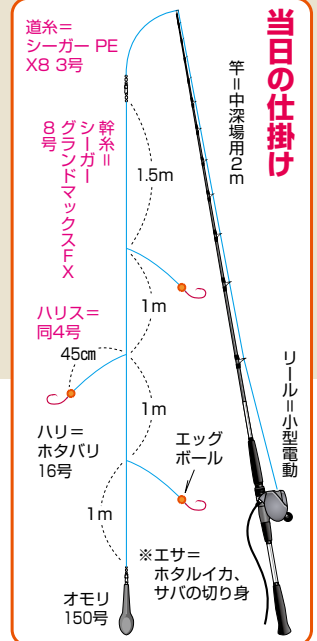
魚種多彩、魚影の濃さでも知られる男鹿半島の沖合で、蝦名さんが以前から釣り物に加えていたと思っていたのが未開拓のアカムツ、アラ。今回の釣行は名手を招いての試し釣りというわけである。

初日は午後からの出船。男鹿半島西部の戸賀漁港から航程40分ほどの水深150メートル前後からのスタートだった。蝦名さんはエサ釣りのアカムツは初めて、あらかじめ鈴木さんからアドバイスを受けてエサや仕掛けを用意し、実釣に臨んだ。20分ほどして中村さんにこの日初めての当たりがきた。本人はもちろん、鈴木さんや蝦名さんも見守る中、ぼんやりと見てきたのはオレンジ色の魚体。「アカムツ、アカムツだ！」



★釣った数なら鈴木さん、関東のアカムツ釣りを秋田に広める立役者に

◆鈴木さんの自製仕掛け



▲道糸は信頼のシーガー PEX8
▲幹系、ハリスはいずれもシーガーグランドマックスFX



当日の仕掛けは、リールII小型電動。オモリ150号。エサはホタルイカ、サバの切り身。

午後1時に納竿とした。アカムツ、アラはオデコなし。多彩なゲストを含め、途切れることなく当たりがくるのはさすが男鹿半島沖。船長も務める蝦名さんは、今回の結果を受け、自信を持って釣り物に加えられると語っていた。

いの一に声を上げたのは蝦名さん。友栄丸でアカムツを釣り上げたのは初めてのことで、サイズは30センチ級ながら中村さんに喜んでくれた。

続いて鈴木さん、蝦名さんにも当たりがきて、大いに期待を持たせたが、上がってきたのは準本命でもある同サイズのアラ。さすが手つかずの釣り場だけに当たりは活発で、その後は本命以外にオキメバル、マヅイ、ホッケなどの五目釣りを楽しみ、明日に備えて早めの納竿とした。

港に戻ってから男鹿温泉郷で入浴し、これも蝦名さんが営む民宿「丘の上のソルトビーチ」に宿泊となる。

翌日は5時過ぎに出船、ポイントは同じく水深150メートル前後だ。前日はゲストばかりだった蝦名さん、鈴木さんも早々にアカムツをゲット。アラやオキメバルの食いは相変わらず、ある程度釣ったところで釣り場探索。大型を狙って水深250メートル前後まで探ってみたが反応はなく、